

六本木ヒルズを舞台に、世界の先端技術を体感できる 1 週間

2017年10月8日(日)～14日(土)

「INNOVATION TOKYO 2017」開催

都市とライフスタイルの未来を考える国際会議から、国際的ロボット競技「ロボカップ」のデモまで

森ビル株式会社は、六本木ヒルズで10月8日(日)～14日(土)の1週間、国際会議やトークセッション、ライブパフォーマンス、展示やデモンストレーションなどを通して、最先端のイノベーションや技術を体感できるイベント「INNOVATION TOKYO 2017」を開催します。今回は、「身体拡張」をテーマに、ロボティクスやVR、AR、人工知能などが、身体機能を補完するだけでなく、今後の社会とどう共存していくかについて、未来の都市のあり方を提案し続ける六本木ヒルズならではの多様なコンテンツにより、世界に向けて発信します。

INNOVATION TOKYO 2017

都市計画、先端技術、アートなどの分野で世界中で活躍する各界の専門家を招いた、都市と未来のライフスタイルを考える国際会議「Innovative City Forum 2017」を開催するほか、自律移動型ロボットを使ったサッカー競技会「ロボカップサッカー」や自動走行の宅配ロボット「CarriRo Delivery」のデモンストレーション、「Innovative City Forum 2017」の登壇者が手掛ける世界最先端の研究を紹介するブースや、様々なジャンルのリーダーたちが今までの取り組みと今後について語る「トークセッション」などを実施します。



都市と未来のライフスタイルを考える国際会議「Innovative City Forum」2016年の様子



自律移動型ロボットを使ったサッカー競技会「ロボカップ サッカー」



自動走行の物流支援ロボット「CarriRo Delivery」のデモンストレーション



屋台形式で、バイオを使ったアート作品を制作する「DIY バイオ」

森ビルは、MIT(マサチューセッツ工科大学)メディアラボなど、最先端の研究機関や大学、企業と連携し、様々な共同研究や実証実験に取り組んでおります。あらゆる活動の舞台である都市は最先端技術における絶好の実験場であり、当社は今後も、六本木ヒルズをはじめとした“ヒルズ”を舞台に実験や発信を重ねながら、都市とライフスタイルの未来を描き続け、イノベーションを生み出す都市づくりを実践することで、国際都市・東京の磁力向上に貢献してまいります。



「INNOVATION TOKYO 2017」 みどころ

Innovative City Forum 2017

～ 都市とライフスタイルの未来を考える国際会議～

10月12日(木)～14日(土)の3日間は、都市とライフスタイルの未来を考える国際会議「Innovative City Forum 2017」を、六本木アカデミーヒルズで開催します。

「Innovative City Forum」は、2013年にスタートし、毎年「アート」「デザイン」「科学」「先端技術」「都市開発」などの各分野から世界のオピニオンリーダーを招聘し、未来の都市とライフスタイルについて議論してきました。

開催5回目を迎える今年は、新たに「経済」「産業」の視点を加え、世耕弘成経済産業大臣をはじめ、各分野で先進的な活動をされている専門家71名が登壇します。プログラムコミッティには、竹中平蔵氏、市川宏雄氏、南條史生氏、伊藤穰一氏の4名を迎え、延べ1,500名のポリシー・メーカーやキープレイヤーが参加、聴講者と登壇者の垣根をなくしたオープンな議論を行います。



「Innovative City Forum 2016」の様子

< 今年の見どころ >

1. 第4次産業革命と新しいライフスタイル

人工知能、IoTなど技術の急速な進歩により社会や生活、さらには人々の価値観までもが大きな変革をしているこの第4次産業革命下、企業は一体どのような戦略を持ち、どのように変化していくべきか、幅広い分野からゲストを迎え、議論をします。

開催概要： 10/13(金) 13:00～17:00 「イノベティブシティブレインストーミング」

2. 20年後の東京の都市ビジョン(東京2035:輝く世界都市)

東京が独自のアイデンティティを維持しつつ、都市の総合力を向上し続けていくためにはどうすれば良いのか、20年後の東京の都市ビジョンや、ビジョン実現のための都市戦略などについて、多角的な視点からオープンに議論します。

開催概要： 10/12(木) 9:30～12:00 「GPCI10周年記念:都市戦略シンポジウム」

GPCIは、森記念財団都市戦略研究所が2008年より実施している、世界の主要都市を、総合力で評価し、順位付けする日本初の調査です。

3. 人間の機能拡張と共生の世界

科学技術の進展により、ますます人間の機能や感性は拡張しています。科学技術と人類の未来のあり方を、拡張「Augmentation」と共生「Symbiosis」という二つの議論軸から、ArtとScienceの領域を超えてディスカッションします。

開催概要： 10/12(木) 13:30～19:00 「アート&サイエンスセッション」

開催日： 2017年10月12日(木)～14日(土)

会場： 六本木アカデミーヒルズ (六本木ヒルズ森タワー49階)

参加費： 各セッション5,000円(税込) 10/14国際交流基金アジアセンターセッションのみ2,000円(税込)

詳細・申込： ICF公式ホームページ (<http://icf.academyhills.com/>) (プログラム、登壇者は変更になる場合があります。)

主催： 一般財団法人森記念財団都市戦略研究所、森美術館、アカデミーヒルズ

共催： 国際交流基金アジアセンター、MITメディアラボ、ソニーコンピュータサイエンス研究所

プログラムコミッティ： 竹中平蔵氏、市川宏雄氏、南條史生氏、伊藤穰一氏

協力： 世界経済フォーラム、国際文化会館、WIRED日本版、ロフトワーク、Media Ambition Tokyo

後援： 経済産業省

< Innovative City Forum プログラムコミッティ >



竹中平蔵



市川宏雄



南條史生



伊藤穰一



ロボカップ デモンストレーション

～ 国際的ロボット競技「ロボカップ」を披露～

自律移動型ロボットによるサッカーの国際的競技「ロボカップ」のデモンストレーションを実施します。ロボット工学と人工知能の融合と発展を目指し、これまで19回の世界大会が開催されてきました。六本木ヒルズでは、「ロボカップジャパン2017」サッカー中型部門で優勝した、東京工芸大学チームによる、2対2のデモンストレーションを披露します。

開催日：10月11日(水) 第1部 11:30～15:00

第2部 18:00～21:00

10月12日(木) 11:30～15:00

毎時00分、30分よりデモンストレーション(10分間)、

毎時10分、40分よりロボット操縦体験(10分間)を実施。

会場：ヒルズカフェ / スペース

参加費：無料

協力：ロボカップ日本委員会、東京工芸大学



トークセッション

～ イノベティブな街の仕掛け人たちによるトークセッション～

ヒルズを舞台にした人気コンテンツ『Hills Breakfast』、『HIP (Hills Ignition Program)』、『Media Ambition Tokyo』がこの日のための特別プログラムを実施します。当日は、「身体拡張」をテーマに、様々なジャンルの次世代リーダーたちが、自分たちのチャレンジを皆さんとシェアします。

開催日：10月12日(木) 19:00～21:20 (18:30 会場オープン)

会場：ヒルズカフェ / スペース

参加費：前売りチケット ¥1,500(税込) / 当日チケット ¥2,000(税込)

どちらも1ドリンク付。詳しくはウェブサイト(www.roppongihills.com)をご覧ください。

< トークセッション プログラム >

1. Hills Breakfast トークセッション 19:00～19:40

テーマ：「共創から生み出す超多様性社会」in collaboration with Hills Breakfast

スピーカー：澤田 智洋(世界ゆるスポーツ協会代表)

タキザワケイタ(PLAYERSワークショップデザイナー / クリエイティブファシリテーター)

2. Hills Ignition Program トークセッション 19:50～20:30

テーマ：「ロボットビジネスのこれから」in collaboration with HIP

モデレーター：竹下隆一郎(ハフィントンポスト日本版編集長)

スピーカー：青木俊介(ユカイ工学)

3. Media Ambition Tokyo トークセッション 20:40～21:20

テーマ：「メディアアーティストが考えるテクノロジーと表現」in collaboration with Media Ambition Tokyo

モデレーター：阿部芳久(Media Ambition Tokyo実行委員会)

スピーカー：Olga(ファッションテックデザイナー、デジタルハリウッド大学大学院 助教)、

後藤映則(アーティスト / デザイナー)



SHOW CASE

～ 最新テクノロジーを駆使したエンターテインメント空間が出現～

「Innovative City Forum 2017」の登壇者や、関連する方々の作品や製品などを展示します。また会期中、自動走行の宅配ロボット「CarriRo Delivery」のデモ走行も実施、新しいテクノロジーや取り組みをわかりやすく紹介します。

開催日：10月8日(日)～12日(木)

会場：ウェストウォーク2階 南側吹き抜け

展示作品：自動走行の宅配ロボット「CarriRo Delivery」(ZMP)

体感型のトイ・プラットフォーム「toio」(ソニー)

競技用義足 Xiborg Genesis (遠藤謙 / Sony CSL)

子どもの見守りロボットBOCCO (青木俊介 / ユカイ工学)

DIYバイオ (BCL、BioClub & friends)



体感型のトイ・プラットフォーム
「toio」(ソニー)



DIYバイオ
(BCL、BioClub & friends)



競技用義足 Xiborg Genesis
(遠藤謙 / Sony CSL)



物流支援ロボット
「CarriRo Delivery」(ZMP)



子どもの見守りロボット BOCCO
(青木俊介 / ユカイ工学)

WIRED Conference 2017

～ ダイヴァーシティはなぜ大切か～

「ダイヴァーシティ」の本当の意味を考え、ビジネス、カルチャー、テックの観点から、世界・他人・自分の「在り方」を問い直す1Dayカンファレンスです。国籍、宗教、ジェンダーについての考察はもちろんのこと、新しい角度から経済活動を考える「アイデンティティ経済学」、Empathy Labがリサーチする「共感を生むストーリーテリング力」などビジネスに応用できるセッションも多数ご用意しています。

開催日：10月10日(火)13:00～

会場：六本木アカデミーヒルズ

参加費：一般 ¥12,960(税込)

参加方法：公式ウェブサイトよりお申し込みください。(<https://wired.jp/identity2017/>)

WIRED